

佳作

## 龍星群

和歌山県 和歌山県立古佐田丘中学校二年 中屋敷 ゆい

弦をはじき、音が響く。舞台を飛び交う音色。その中に私の音もある…。

私が邦楽部に入部したのは、一年生の二月頃だ。邦楽部は箏を弾く部活。私は楽器が得意ではないし、音楽系の習い事もしたことがなかったので結構不安だった。三月のコンサートでは簡単な童謡を、五月のコンサートではJ-POPを弾いた。どちらも最初は難しいと思っていたが、ゆっくりでそこまで長くない曲だったので意外とすぐに弾けるようになって。五月のコンサートが終われば、次は約一ヶ月後にある文化祭だ。私はてっきり前に弾いたJ-POPをまた弾くのだと思っていた。すると、顧問の先生が、

「文化祭では龍星群弾くで。あ、途中から入った三人忘れとったなあ。よし、じゃあ一緒に龍星群弾

こか！後一ヶ月くらいやけど頑張れ！」

的なことを言い出した。「龍星群」とは、私達がJ-POPを弾いていたときに、他の部員達が並行して弾いていた、カッコいいけど難しい曲だ。速いわ、長いわ、新しい手法出るわ、パートが一杯あって他の音につられるわ…。その時は正直、「先生は鬼か!？」と本気で思ってしまった。そんな中、練習はスタート。最初はやっぱり全然出来なかった。まだ慣れない楽譜を読み取ることで精一杯、とてもついていけなかった。「一ヶ月しか無いとか無理やん」と諦めかけていたときもあった。けど同じパートの先輩や友達は付き添って丁寧に教えてくれる。同じタイミングで入部した友達は一生涯懸命練習している。そんな姿を見ていると「私も頑張らな！」と思え、必死になって練習をすることができた。

そしていよいよ本番。今、舞台の上にいる。目の前には約八百人もの生徒達。呼吸を整え、始まりの合図までじっと待つ。…始まった。音が大きくなる。とともに体中の血液が加速する。各パートの音がまるで龍のように駆け抜けた。楽しい！長い曲も弾いていけばあつという間。ダン！最後の音が鳴り終わった。心臓がバクバク鳴っている。やり遂げた達成

感、皆と一緒に奏でられた楽しさや喜びなどの感動が私の心を龍のように駆け抜ける。邦楽部に入って、頑張っ、本当に良かったと思えた。

私はずっと、音楽や楽器は苦手だ。自分には向いていないと思いついてきた。今でも苦手ではあるが、自分の努力次第で出来るようになるということを知った。あの時、仲間と一緒に音を奏でられた感動は、きっとこの先も忘れることはない。私は「諦めないことの大切さ」、「努力をすれば結果はどうであれ、心に何かを残すことができる」ということを学んだ。このことを生かして、これからは最初から諦めたりせず、いろんなことに挑み、努力していききたいと思う。